

週報

令和 5 年 6 月 9 日

2022~2023年度 No.36

2022-23年度 国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長 ジェニファー E. ジョーンズ

プログラム

S A A 有川 真史君

☆点 鐘

☆国歌斉唱「君が代」

☆ロータリーソング斉唱

「奉仕の理想」

☆四つのテスト唱和 職業奉仕委員会

☆誕生祝

☆食事懇談

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

山下 実君

☆点 鐘

現在会員					30名					前々回の欠席者(5/19)					5名	
本 日	出席	19名	欠席	6名	免除(a)欠席	3名	免除(b)欠席	2名	出席率					76.00%		
	出席	17名	MU	1名	免除(a)MU	3名	免除(b)MU	4名	修正出席率					78.26%		
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
	本年度	75.55	81.16	83.53	77.58	89.84	89.31	87.32	93.48	95.83	83.80	81.64				
前年度	74.94	休会	休会	81.53	77.59	73.49	85.71	休会	70.49	69.74	70.51	77.60				

例会場 カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
例 会 金曜日(12時30分~13時30分)
事 務 所 長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 才 津 喜 彦
副 会 長 中 村 吉 廣
幹 事 西 上 裕 一郎
雑 誌 会 報 委 員 長 寺 澤 信 義

誕 生 祝

清瀧 誠司君(昭和15年5月27日生)

親睦委員長様、本日は私の誕生日をお祝いして頂き、深く感謝しております。

福江ロータリークラブに入会して36年の月日が経ちました。私が五島の地を踏みだして60年の節目になりますが、その半分以上の年月を皆さんと一緒に過ごす事が出来ました。島外から来た者だけにしか分からない嬉しさと、多くの友を頂きました。5月27日で83歳になりました。誕生日のお祝いの品も変わって来まして、今後残っていく物と違い、消えてしまう様な食べ物とかになっております。今回も子供達からウナギのかば焼きを頂き、パートナーと一緒に頂き物のケーキと共に、これからの一年を元気でお互いに過ごしましょと誓い合い食べました。

又、今までは石原裕次郎の歌は聞いたことはありませんでしたが、彼の最後の曲になった、なかにし礼作詞の「我が人生に悔いなし」の曲に、最近は心が動きます。

鏡に映る わが顔に グラスをあげて 乾杯を
たった一つの 星を頼りに

はるばる遠くへ来たもんだ
長かろうと 短かろうと

わが人生に 悔いはなし

まだ二年会頭の職が残っております。もうひと頑張り致します。皆様にも宜しくお付き合い願います。



山下 克己君(昭和25年6月1日生)

本日は誕生日のお祝い、誠にありがとうございます。

令和5年6月1日をもって、73歳になりました。誠に、「少年、老い易く、学、成り難し」です。これも、まさに「一寸の、光陰、軽んず可からず。」ということであろうと思ひ、無為にすごしてきた

ことの反省もしております。

昨年は、初孫の結婚の話をしました。1年後の今日は、初ひ孫の誕生を報告することになりました。これもまた「歳月、人を待たず」ということであろうと思っているところです。

ただ、今となっては、先を急ぐようなことは何もありませんので、ゆっくりと生きていきたいと思っています。皆さまのご指導をいただきながら、時には、ともに、一献、傾けることができればと、願っております。今後とも、よろしく願いたします。



吉田 泰之君(昭和29年6月6日生)

誕生祝い、どうも有難うございました。

6月6日で69歳になりました。70歳まであと1年、本当に老人になったなーと思います。

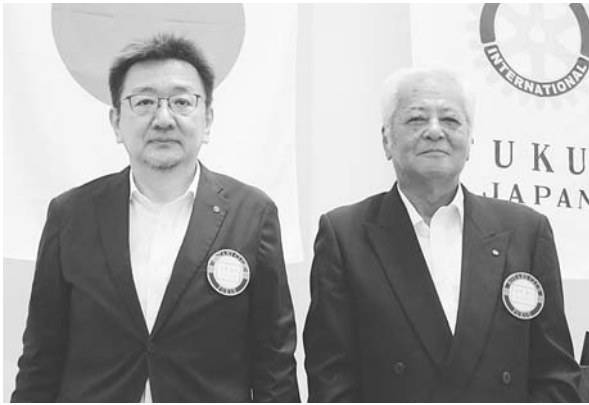
41歳の時、福江クラブに入会させて頂き、28回目の誕生祝いです。

色々な人と出会い、又、別れがあり、多くの方からたくさんの事を学ばせて頂きました。昔なら、ちょっとした事でカッと怒っていましたが、今ではグッとこらえる事が出来るようになったのも、歳のせいかと思ひます。

今年に入り、3人の同級生が次々と亡くなりました。ガンだろうと思ひます。私も他人事ではなく、そんな年齢になったのだと実感しています。これから残りの人生を考えるに、何が今一番の楽しみかと言うと、やはりゴルフかなと思ひます。これ以上、上手になる事はないと思ひますが、何とか80台で回れるように頑張りたく思ひます。出来れば、もう一度70台で回れたらと・・・。

これからも健康に留意し、ゴルフに、少しだけロータリーに頑張りますので、仲良くお付き合いの程、宜しく願ひ致します。

本日は誕生祝い有難うございました。



山下 実君(昭和38年6月3日生)

誕生日のお祝い、ありがとうございます。

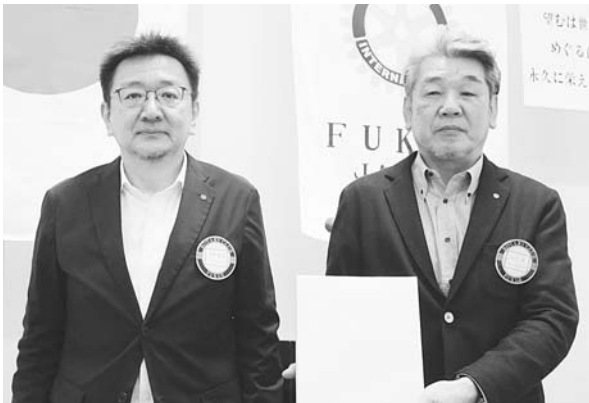
入会以来19回目のお祝いをしていただきました。

いよいよ大台の還暦を迎え、今年2月には子供たちから赤いチャンchanコを着せられてお祝いをしてもらいました。ただ、初孫が2月で1歳の誕生日だったため、そのおまけでしたが、、、

毎年話している6月3日は、「雲仙普賢岳火砕流」により40数名の方々がお亡くなりになった追悼の日でもあります。

それなりに元気に仕事をこなし、まだ多少は遊べる自分に感謝をしながら、新たな60代を楽しんでいきたいと思います。

本日はありがとうございました。



会長の時間

会長 才津 喜彦君

皆様、こんにちは。それでは6月度第1例会36回目の会長の時間を始めます。

昨日、2022～2023年度第4回会長幹事会がホテルヒルトン長崎で開催されました。

今年度最終の会長幹事会という事で、新旧、私・西上幹事・平村エレクト・松岡次期幹事の4名で参加して参りました。この新旧の会長幹事会の昨日を含めて過去4回参加させて頂きましたが、毎

回現の会長幹事さん達の安堵感と新の会長幹事さん達の不安感が入り混じった会で、1年間お世話になった第9グループの辻村ガバナー補佐・第10グループの鶴田ガバナー補佐、また他のクラブの会長さん達にご挨拶もでき、私自身終了後の懇親会では今までの中で一番の美味しいお酒を頂くことが出来ました。

それでは今週の「来たらおいしいイチオシ馬」の前に前回の結果ですが、日本ダービー推奨しました⑩シャザーンは9着でした。発売前の想定オッズでは15番人気の46倍でしたが、ふたを開けてみれば5番人気24.9倍、馬券妙味的にはあまり美味しくもないオッズになっていました。馬場と展開がハマれば一発があるかとは思っていましたが、上位入選した馬たちとは少し実力の差があったのではないかと感じさせられました。夏場にしっかり休養して、秋以降の活躍に期待したいと思います。

レースの方は1.8倍の断然の1番人気⑤ソールオリエンスの猛追を、前回の皐月賞で一番強い競馬をしたと言われる⑫タスティエーラがクビ差粘り勝ち、第90代のダービー馬となりました。今回のダービーはスタート直後に落馬があったり、入選後に2番人気に押されていた②スキルウィングが、心不全でコース内で倒れ亡くなったりと色々な事がありましたが、翌週からは第91代のダービー馬に向けての新馬戦が始まりましたので、有力馬のチェックもやっていきたいと思います。

さて、今週は6月11日(日)函館競馬場で開催される函館スプリントS(GⅢ芝1200m)からです。今週から夏競馬恒例の北海道競馬がはじまります。今回推奨する馬は、⑦ジュビリーヘッドです(7番人気想定オッズ14.3倍)。⑦ジュビリーヘッドは昨年のこのレースの2着馬で、過去3回函館競馬場芝1200mを走って2着が3回と函館巧者の馬と言っても過言ではありません。北海道の芝は他の競馬場と違い洋芝で、普通の芝より力のいる芝になっています。また、競馬場の形態も小回りコースになっており、馬によっては得意不得意が分かれやすい競馬場にもなっています。また⑦ジュビリーヘッドの父ロードカナロアは短距離巧者、スピードをいかして前目につけ開催2日目と内側有利の馬場になるのは確実。小回りの競馬場で前目そのまま残れば、勝ち負けになるかと思っております。今回は、函館巧者の⑦ジュビリーヘッドを推奨したいと思います。馬券は⑦ジュビリーヘッドの単・複と、52キロ軽斤量3歳馬⑧リバーラ⑬ブトンドール2頭へ馬連・ワイド流して勝負したいと思います。以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 西上裕一郎君

【当クラブ関係】

- 第12回定例理事会
 - ・本日の例会終了後開催
- 定款細則改正協議会について
 - ・次週6月16日（金）例会において定款細則改正協議会を開催します。
事前に新しい定款・細則・内規をメールボックスへお配りしております。
- 第6回クラブ協議会について
 - ・次々週6月23日（金）例会終了後、第6回クラブ協議会を開催します。
理事・委員長の皆様は、今年度の活動の反省と次年度への引継ぎ事項の発表をお願いしますので、原稿を事前に作成願います。
欠席される場合は、代理の方から発表をして頂くよう事前に調整し、幹事までご連絡下さい。
- クラブ現況・事業計画活動報告書へ記載する今年度の申し送りと、次年度の委員会の活動方針・事業計画を提出していない方は提出して下さい。

【地区関係】

- 第4回会長幹事会
 - ・昨日6月8日（木）長崎市のヒルトン長崎にて開催されました。
才津会長・西上幹事・平村次年度会長・松岡次年度幹事が出席してきました。
- 長崎RCより
 - ・例会休会のお知らせ

【地区以外ロータリークラブ関係】

- 国際ロータリー日本事務局財団室より
 - ・「財団室NEWS」6月号
- 国際ロータリー日本事務局経理室より
 - ・2023年6月のロータリーレート
1ドル 140円
- 福江中央RCより
 - ・週報第30号、31号
- 機関誌「ROTARY」（英語版）2023年6月号

委員会報告

出席報告

- ◆6月9日（免除(a)欠席者）
中村 博義君 植松 郁雄君 釜崎 洋君
- ◆6月9日（免除(b)欠席者）
谷川 和啓君 佐々野邦久君
- ◆6月9日欠席者
片山 雅文君 小畑 和男君 坂井 成光君
三村 剛孝君 柳田 靖夫君 松岡 孝博君
中村 吉廣君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇宮本 光藏君 福江RCの皆様、お世話になりました。ありがとうございました。
- ◇清瀧 誠司君 誕生祝をありがとうございます。
- ◇山下 克己君 “ ”
- ◇張本 民雄君 6月4日のスマイル会で優勝しました。
- ◇吉田 泰之君 誕生祝をありがとうございます。
張本民雄さん、スマイル会優勝おめでとうございます。
- ◇山下 実君 誕生祝をありがとうございます。
本日の卓話、ご清聴よろしくお願ひします。
- 山下実さん、本日の卓話をよろしくお願ひします。
- 清瀧誠司さん、山下克己さん、吉田泰之さん、山下実さん、誕生日おめでとうございます。
才津 喜彦君 西上裕一郎君 中村 栄治君
戸田 博之君 山里 一郎君 平村 和弘君
神之浦文彦君 橋本 武敏君 寺澤 信義君
山口 裕之君 有川 真史君 藤川 博士君
合計 30,000円
通算合計 717,000円

部 内 卓 話

山下 実君



皆さん、こんにちは。

令和3年4月の卓話から2年振りとなります。卓話の話をいただいたのが結構前で、時間に余裕があり過ぎてしまったのか、結局この原稿を書き始めたのは今週に入ってからになってしまいました。

さて、何について話しをしようかと考えている時に、やはり今回も柔道ネタでやる方が良いかな、と思いました。柔道ネタなら福江クラブの皆さんより分かっていることが多いし、経験値も高いので多少なりとも誤魔化しがきくのではと考えています。

次に、柔道の何について話すかを考えました。一番最近の話題として、5月に開催された「ドーハ世界選手権」になるのですが、やはりこれは外せないと思いました。

ただし今回は、大会での日本選手の戦いぶりや試合内容についてはあまり触れずに、ちょっと視点を変えて、個々の代表選手のエピソード等に絞って話をしてみようと思います。ただ、今はウィキペディアなどのツールがありますから、皆さんも知ろうと思えば知れる程度のよもやま話で終わるだろうな、と思っています。

さて、私の柔道における現在の立ち位置は、長崎県の一指導者で団体や個人を複数回全国大会に導いている、ちょっとだけ名前の知れた存在程度ですから、代表選手たちとの接点などそんなにありませんし、知り合いから聞いた本当かウソかも分からない情報も入っていると思います。先に述べたように多少の誤魔化しは効くでしょうから、本当の話のように話を進めていこうと思います。また、当然代表には男女いますが、今回は男子に絞って話をしようと思います。セクハラ発言になってしまっはいけませんので、、、。

【個人戦代表選手】

60kg級 高藤 直寿 (たかとう なおひさ)
銅メダル

66kg級 阿部 一二三 (あべ ひふみ)
金メダル

73kg級 橋本 壮市 (はしもと そういち)
銅メダル

81kg級 永瀬 貴規 (ながせ たかのり)
銅メダル

90kg級 村尾 三四郎 (むらお さんしろう)

100kg級 飯田 健太郎 (いいだ けんたろう)

100kg超級 斎藤 立 (さいとう たつる)

(高藤 直寿)

高藤は、小・中・高の各カテゴリーで全て全国チャンピオンになっている逸材です。調べたところ、同じように各カテゴリーでチャンピオンになっているのは、前全日本男子ヘッドコーチの井上康生だけだそうです。更には大学生になると世界に羽ばたき、世界選手権で金メダルを獲得してしまいます。

こんな選手は滅多にいるものではなく、どこかの時点で取りこぼしがあったりして、全てにおいて勝つことは非常に稀だと思います。また、中学や高校に上がると、思春期特有のいろんなことがあって、柔道に身の入らない時期があったり、ケガによる長期離脱で、結局潰れていった選手は山のようにいると思います。そういう意味でも、素晴らしい選手と言えると思います。

ただ好事魔多し、の例えにあるように、若くして世界チャンピオンになれば、周りからそれなりにチャホヤされます。高藤は学生結婚しています。なぜ学生で結婚できたかという、世界チャンピオンとしての収入があったからだと思像できますが、天狗になって結構怠け癖が出てしまい遅刻が多く、代表の合宿をさぼったりすることもあって、強化選手AからBに格下げされたこともあったようです。

エピソードとして、福岡で開催される「選抜体重別選手権」での話です。私はコロナ前までは毎年観戦に行っていて、以前に紹介したことがありますが、九州各県の中学選抜団体戦が組み込まれていて、教え子が出場するためチームの応援も兼ねていました。

この大会は選手と観客の垣根があまりなく、試合間隔が空いたり、終わった後などに選手が観客席の応援者の席に来て、普段のありのままの姿を見せることが多々あるのです。

高藤は、最大のライバルが国内にいました。同じ大学の後輩の永山選手です。ある年の決勝で対戦したのですが、あっさり永山選手が出足払いで勝ちました。試合後、客席にやってきた高藤選手は所属の応援者たちに対して、「あの足技は防げない、今は無理無理、気がついたら飛んでいた」と話していました。あっさり完敗を認めて、すぐに次を見据えたような態度でした。このように引きずらずに切り替える速さこそが、世界で戦う上で重要なのだと感心させられたことを覚えています。

(阿部 一二三)

阿部も化け物の一人です。結果がものをいう世界ですから、多少のやんちゃは許容範囲だといえます。阿部選手も若くして第一線に上がってきましたので、天狗な部分もあったそうです。日体大に進学すると一年生の時から掃除等の雑用は免除されていて、他の同級生とは明らかに差をつけていたそうですし、業界ではナンパな女好きとして有名です。

この数年は、丸山城一郎選手との対戦が話題を独占し、世界選手権にどちらが出ても金メダル、二人とも出たら決勝対決を繰り返していました。ようやくその戦いに終わりが見えたのが今年の世界選手権だったかな、というのが私の印象です。決勝での戦い方を見ていて、阿部は丸山に負けなためだけの柔道を習得していました。それに比べ丸山は、投げて勝つことにこだわっていました。もちろん紙一重でしょうが、こうなると阿部の負けは考えにくくなって、審判団の判断にも影響してくると思いました。

エピソードとしては、和歌山県で開催された阿部選手が中学2年生の時に出場した全国中総体の55kg級で優勝したときの話です。私は60kg級の県代表となった教え子のコーチとして参加していましたが、引率は学校の顧問が受け持つため、家族旅行を兼ねて大会以外は別行動をしていました。大会当日、駅前のタクシー乗り場から会場に向かう際に、初老の男性がタクシー待ちをしていて一人同志だったため、一緒に乗りませんかと声を掛けました。その方は、自分の孫が個人戦に出場するため兵庫から一人でやってきていたのです。車中で孫の自慢話をさんざん聞かされて、少々ウンザリしていたのですが、その孫こそが阿部一二三でした。

個人戦が始まり、1回戦の相手が我が長崎県代表の田川選手でした。阿部のことは知りませんで

したが、田川選手は非常に強い選手で上位進出を期待していたのですが、有効ポイントで負けてしまいました。その後、2年生の阿部選手は次々と勝ち上がり、とうとう優勝してしまったのです。私はタクシーのことを思い出し、あのおじいさんは優勝を予言していたのだと思って、びっくりしたことを鮮明に覚えています。

(橋本 壮市)

橋本選手は、ずっと2番手3番手の選手でした。あのオリンピック2連覇の大野選手がいたからです。

橋本選手は学生時代81kg級の選手で、団体戦の引分け要員の選手でした。組み手が速くて上手く、重量級の選手にも引けを取らずに十分にその責任を果たしているという印象でした。大学の後半に73kg級に落とし、社会人になってから第一線に上がってきた感じです。

強化選手Bのとき、味の素ナショナルトレーニングセンターでの全日本チーム合宿の際に、宿舎に女性を連れ込んだことがバレて、強化選手を降格させられたことがあります。速くて上手なのは組み手だけではなかったのです。

(永瀬 貴規)

いよいよ永瀬選手です。一見そこまで体力的に強そうではないのですが、あの永瀬選手が全日本強化選手の中で(重量級は除くでしょうが)、一番強いと太鼓判を押すほどの戦闘能力を持っています。

リオオリンピックで銅メダル獲得、その後膝の大ケガによる手術を乗り越えて、東京オリンピックで見事に金メダルを獲得した、我が長崎県の誇りです。

永瀬選手のことは、中学生のころから知ることになります。当時の教え子たちの前に立ちただかって、団体戦では我がチームが勝つのですが、個人戦では永瀬選手に負けていた感じです。

縁があって、永瀬選手を始めとする10名程度の中学生を連れてタイへ遠征したことがあります。長崎市柔道協会の面々が企画し、私も帯同しました。中学生の海外遠征ですから、親も一緒の方が多かった様です。因みに永瀬選手の母親は、上半身はそこそこ見れるのですが、下半身が異常にでかくて、才津会長好みの、まるで古墳から発掘された土偶の様だったことを覚えています。

当時の永瀬選手は、66kg級でひょろっとした印象でした。全国中総体に出場しましたが、準々決

勝で負けています。これが長崎日大高に進学したところから急にでかくなり始めて、1年生で全国高校選手権81kg級で優勝するまでになりました。2年次は骨折等で不運な時を過ごし、3年生では見事インターハイ81kg級優勝となりました。

筑波大学に進学後も順調に成長し、大学3年時から世界選手権に出場するまでになり、4年時の世界選手権で金メダルを獲得することになります。

エピソードはこの頃の話です。4年生の時の選抜体重別選手権で、見事に2連覇を果たした時の事です。観戦に来ていた私の長崎の柔道の先輩(永瀬の指導者)から、「実、2万円出せ」と一言。2万円を渡すと、永瀬選手が試合後に客席に応援のお礼に来た時にお祝いとして渡したのです。もちろん先輩も出していたので、4~5万円は渡ったと思います。

大会は二日間開催の一日日でしたので、翌日の大会を観戦に行ったときに喫煙所でまったりしていると、永瀬選手が足元フラフラで会場にやってきました。私が冗談で「昨日はうまい酒飲めたか?」と聞くと、一言「ごっつあんでした」と真っ赤な顔で言いました。ただの二日酔いだったのです。その年の世界選手権で金メダルを獲得する永瀬選手に飲んでもらったのなら、私の渡した2万円は活きたお金になったと思っています。

東京オリンピック金メダルの後、長崎で「永瀬杯少年柔道大会」が開催され、子供たちを連れて参戦しました。その時に一声かけると、子供たちと一緒に記念写真に快く収まってくれました。まだ2万円の効果が残っているは思わないのですが、、、

ここまでで随分と時間を使ってしまいましたので、後は端折って簡単に話をして終わりにしようと思います。

(村尾 三四郎)

村尾選手との接点は全くありません。彼が中学の時の全国中総体には行けなかったからです。ただ、村尾選手がインターハイ90kg級で全試合ほぼ秒殺でチャンピオンになった時の準々決勝で当たった選手が、私の教え子でした。こいつだけが2分持ったと、家族共々喜んでいました。それほどずば抜けた存在だったのです。

(飯田 健太郎)

飯田選手との接点もないのですが、彼が全国中総体に出た時は、我がチームも団体戦・個人戦3

階級で出場していましたので、見た覚えはありません。

背が高く、当時はスマートな81kg級でした。細いわりに柔道着の着こなしが良く、いかにも強そうでした(これは私の持論ですが、柔道着が似合う人は間違いなく強い)。高校で国土館に進学して才能が開花し、高校生でグランドスラムパリ大会優勝と、シニアでも活躍するようになったのですが、このところ結果が伴わなくなってきたのが残念です。

国土館大学に進学したとき、私の教え子と一緒に入学でしたので、教え子が帰郷したときに「稽古してみてもどうや?」と聞いてみたところ、「あいつは化け物です」の一言でした。それほど強いということです。

(斎藤 立)

斎藤選手は、見ての通り巨大な岩のような存在です。

彼が全国中総体に出た時に、私も教え子が出場していて近くで見たのですが、中学生のことを「山が動いている」様に見えたのは初めての経験でした。

さて私も還暦を迎え、人生の終盤に差し掛かってきました。柔道の指導者としても何時まで出来るか微妙になってきました。

私は指導している子供たちに、稽古で敵わなくなったら辞めると初めから決めていて、父兄たちにも公言しています。

しかし同時に、私を簡単にぶん投げて、将来世界の舞台に出て行けるような教え子の出現も期待しています。

ご清聴ありがとうございました。